

校長だより あおすげ

令和5年7月10日号

校長 竹内 重幸

<防犯教室（不審者対応）>

7月6日（木）に、全校児童が体育館に集まり、佐倉警察署の方から「不審者に会ったらどうする？」という話を聞きました。実は、「7月の正午～夕方」の時間帯が、児童生徒が不審者に声をかけられたり、被害に遭ったりする事件が多発することが統計的に分かっています。夏休みを前に、正しい知識を知り、危険に合わないような行動や、もし、不審者に会ったら避難の行動ができるようになって欲しいという願いから教室を開きました。以下に、防犯教室の内容を書くので、ご家庭でも今一度ご確認ください。

は はなしかけてくる
ち ちかづいてくる
み みつめてくる
つ ついてくる
じま じっとまっている
ん ん？とちゅうい！



大人は「危ない人を見たら逃げなさい」と伝えますが、とても曖昧な言葉です。どんな人が「不審者なのか」を子供に教える必要があります。「変な人→怪しい人→危険な人」と判断する基準が左図の合言葉になります。不審者が子供をターゲットに決める距離が20mだそうです。もし周囲にだれかがいて自分のことを注視し、見咎められそうであると判断した時には中止します。しかしそうでないときは、6m手前から行動してくるという話でした。

では、不審者に遭遇して、話しかけられたり、手をつかまれたりした時には、「逃げる」ことが最善の方法だと教えていただきました。逃げながら大声を出すことも◎、近くの大人や近所の家に助けを求めるのも◎です。そして、犯罪者は、子供が20m先へ逃げてしまうと完全に諦めてしまうというデータもあると教えてくれました。また、人の目がある場所に行くことが自分を守ることに繋がります。以下の写真は、手を振りほどいて逃げる訓練の様子です。



犯罪はどのような場所で起こるのでしょうか。合言葉は、「ひまわり」です。登下校、放課後や休日に遊ぶ場所で「ひまわり」に該当する場所はないでしょうか。また、夏休みになると、行動時間も変わるので、周辺の様子や人通りも違ってくるはずですよ。

元気に家を出て、「ただいま」と帰ってくることは、最大の願いだと思います。学校と家庭、そして地域が連携して子供たちの安全を守っていく決意を確認できました。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

ひ ひとりだけになるところ
ま まわりから見えないところ
わ わかれみち・わきみちみちなど、うらみちのおおいところ
り りようされていない家やこうえん

